

## 2011年度

科目名	ゼミナールⅡ			
担当教員	竹本 封由之進			
配当	教福4		コード	80189
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数 4
授業テーマ	絵画制作を通し、自己実現をはかる			
目的と概要	前年度のゼミナールⅠから継続した研究主旨を生かし、絵画表現を中心として検証的に卒業研究を進める。自主的・主体的な研究姿勢で、生涯学習につながるような自己教育力の基盤を確立しましょう。ゼミでの学習交流を通して学友との絆を強め、生涯付き合えるような関係を期待します。			
成績評価法	・出席状況・研究姿勢・活動の様子・学習成果・自己評価などによって総合的に評価する。			
テキスト	必要に応じてテキスト・資料を紹介する。			
参考書	適宜紹介する。			
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	<p>◆ 2月上旬 卒業制作油彩画展(志学館)、2月中旬 卒業制作展(御堂筋ギャラリー)を行い、2年間の学習のまとめとする。        * 予定以外にも、下級生との交流活動、地域活動への参加等を入れます。</p>			
講義計画				
1回	・年間ゼミ学習計画と学生生活の設計（実習、卒業、就職関係事項等）			
2→12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月例写生会、写生旅行の計画</li> <li>・写生会における作品の評価会           <ul style="list-style-type: none"> <li>構図、形と色、量感や質感、主題、モチーフ、技法等</li> </ul> </li> <li>・鑑賞作品の紹介、報告会</li> <li>・論文の書き方の演習</li> <li>・造形表現、図画工作科の教材研究</li> <li>・卒業制作、副論文の構想相談、計画</li> <li>・卒業、実習、就職相談</li> <li>・その他、各種活動についての取り組み</li> </ul>			
13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンバス下塗り</li> <li>・下絵制作</li> </ul>			
14→15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「絵画表現」と卒業研究の意義</li> <li>・卒業制作構想発表会</li> <li>・夏休みの課題と計画</li> </ul>			
16回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの成果発表会</li> <li>・制作日程の確認</li> </ul>			
17→19回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自で卒業制作を進める（隨時相談、指導）</li> <li>・副論文の構想を練る</li> </ul>			
20回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・副論文の作成日程の確認</li> <li>・副論文の書き方の確認</li> </ul>			
21→27回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業制作の完成</li> <li>・副論文の作成、相談</li> </ul>			
28回	・副論文完成・提出、発表会、相互評価			
29→30回	・卒業制作「油彩画」F 60号発表会			
*受講生のニーズや成長度合に合わせて、変更する場合があります。				